



ハイチにおける大地震

平成23年7月
外務省

★地震発生

- ・日時: 現地時間平成22年1月12日午後4時53分
(日本時間平成22年1月13日午前6時53分)
- ・場所: 首都ポルトープランス郊外約15km
- ・規模: マグニチュード7.0

★被害状況 (平成23年1月現在)

- ・被災者数: およそ370万人
- ・死者数: 約31万6000人(国連関係者102名含む)
- ・負傷者数: 約31万人
- ・避難者数: 約80万人
- ・倒壊住宅: 10万5000戸
- ・損壊住宅: 20万8000戸
- ・被害額 約78億ドル(09年の同国GDPの約1.2倍に相当) (出典: 復興ニーズ調査(PDNA))
- ・治安: MINUSTAH等により一定の治安維持。



- 1804年1月1日独立 (中南米で最初に独立)
- 国土 27,750km² (北海道の約3分の1)
- 人口 **992万人(09年ECLAC)**
- 首都 ポルトープランス(人口約250万人)
- 言語 仏語, クレオール語
- 政体 立憲共和制
- 元首 **ミシェル・マルテリ**大統領(11年5月就任, 任期5年)
- GNI 4,118百万ドル,
- 一人あたりGNI 560米ドル(07年世銀)
- 通貨 グルド(1米ドル≒37グルド)

我が国のハイチ震災に対する支援

平成23年7月現在

緊急支援（総額5,500万ドル超）

○国際緊急援助隊による医療活動（於：レオガン市）

- (1) 医療チーム(1/18-1/25):のべ534名を受診
- (2) 自衛隊医療部隊(1/23-2/13):のべ2,954名を受診

○緊急援助物資(テント・ポリタンク等)供与

○国際機関を通じた支援

- (1) 食料・給水・衛生支援等(WFP, UNICEF, UNFPA, UNOCHA)
- (2) 仮設住宅支援(IOM, IFRC, UNV)
- (3) 感染症対策支援(WHO, UNICEF)
- (4) 雇用創出・農業支援(UNDP, FAO)
- (5) 教育支援(UNESCO)

○ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた日本NGO活動 支援(計8団体)



我が国のハイチ震災に対する支援

平成23年7月現在

復興支援（総額4,500万ドル超）

1 教育・人材育成（能力強化）分野

○小学校再建・整備等（草の根・人間の安全保障無償資金協力 3件）

2 保健・医療分野

○レオガン市における復興支援緊急プロジェクト（給水等）

○コレラ対策支援（緊急援助物資供与）

○病院・診療所整備等（草の根・人間の安全保障無償資金協力 5件）

3 食料・農業分野

○貧困農民支援

○ドミニカ共和国・アルゼンチンとの三角協力による農業研修

4 国家基盤整備・法の支配（ガバナンス）分野等

○レオガン市復興のための市街地道路整備計画

○紛争予防・平和構築無償「国境管理強化計画」（IOM経由）

○選挙支援（選挙監視団の派遣，UNDP経由選挙支援）

○JICA援助調整専門家のハイチ対外協力省への派遣

5 その他

(1) ジャパンプラットフォーム（JPF）を通じた日本NGO活動支援（計8団体）

(2) ハイチ復興基金への拠出（上記1～3の分野への支援を想定）

(3) 我が国の震災国としての経験・知見を活かした支援

○大震災後復興研修（於：兵庫）

○メキシコとの三角協力による地震対策（専門家派遣）

○建築専門家の国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）への派遣

(4) 現地実施体制の強化

○JICAフィールドオフィスの設置



我が国のハイチ震災に対する支援

平成23年7月現在

国連PKO(MINUSTAH)に対する自衛隊施設部隊(総勢約330名(司令部要員含む)の参加(のべ約1,220名が活動)

(展開地域)首都ポルトープランス

(主たる業務)がれき除去, 被災民キャンプ建設用地の整地, 道路補修, 軽易な施設建設, 医療活動等

(これまでの活動・実績)

- 解体・瓦礫除去
- 敷地の整地・造成
- 道路の補修
- 軽易な施設建設
- 物資の輸送
- その他の活動(クレーン支援等)

(主な実績)

- ポルトープランス市内の道路, 倒壊した学校・刑務所等のがれき除去
- 日米共同によるゴナイーブ学校及び診療所施設の建設
- 日韓共同によるレオガン病院建設用地の造成
- 大雨による孤立住民の輸送

